

AKAMATSU

赤松公民館だより

ふれあう心 ひろがる笑顔

2022(令和4年)

8月号



赤松校区のいま (5月末現在)

人 □ 8,231人
男 3,834人
女 4,397人
世帯数 3,855世帯

発行：佐賀市立赤松公民館
〒840-0022
佐賀市中の館町4番10号
TEL・FAX (23) 6002
E-mail: kakamatsu@city.saga.lg.jp

八田江排水機場など施設見学を実施 (あんしん部会)

本年度の出水期を前にして、赤松まちづくり協議会のあんしん部会(荒金健次部会長)では、第一回赤松水害対策協議会(5/26)を開催しました。

この協議会では、佐賀土木事務所河川課や佐賀市河川砂防課などと、これまでに協議した赤松地区の水害対策の要となる枝吉水門や八田江排水機場の施設見学を行いました。

特に、松原川の水位を早く減少させるためには、枝吉水門の早い時期での水門全開が必須条件であり、参加者は真剣な面持ちで佐賀土木事務所西久保課長の説明を受けていました。

当協議会では「ノーモア床上」をスローガンに、佐賀県や佐賀市に取組の強化の申し入れを行いました。これにより今年度は、佐賀城のお堀の事前排水による貯水能力の向上、および枝吉水門の早期全開を確約するなど、昨年度より一歩進んだ水害対策が行われることになり、出水期水害の減災を期待したいと思います。



蒲田津排水機場での説明風景

水鏡プロジェクト

おほり灯ろうまつり

今年度も、佐賀県主催の「佐賀さいこうフェス」と同時開催で、昨年度より灯ろうの数を増やして、約1000個の灯籠を並べる予定です。

日時 10月22日(土)18時～
場所 佐賀城南堀
(シャボン玉公園付近)
主催 水鏡プロジェクト実行委員会

今年も…

灯ろうの絵を募集します

秋の佐賀城お堀を彩る、灯ろうの絵を描いてみませんか? 「僕の、私の絵…」がお堀に浮かびとっても綺麗ですよ。

用紙を準備していますので、ご希望の方は、赤松公民館へご連絡ください。



連絡先は、☎0952-23-6002 です。
限定 50 名の募集です。

令和4年度 人権ふれあい学級

～だれもが自分らしく生きるために～

あなたの人権意識をいっそう高め、明るく住みよい幸せな家庭や社会をつくるために、身近なことから人権・同和問題についての学習に取り組んでみませんか!

日程 別表のとおり
場所 赤松公民館 集会室
主催 赤松公民館
共催 赤松校区社会人権・同和教育推進協議会
講師 佐賀市社会同和教育指導員 大島 信行 氏
申込方法 電話もしくは受付窓口にて
(平日の 8:30～17:00)
電話 0952-23-6002



回	日程	テーマ	時間
1	9/12(月)	超高齢化社会と ひきこもり問題	10:00 ～11:30
2	12/ 5(月)	地域における人権問題(予定)	

1 回目の講座では、人権啓発ビデオ
「カンパニユラの夢」を上映する予定です。

主催講座報告

第1回 さが学講座

今年度の赤松公民館さが学講座は、5/31(火)、大隈重信記念館館長・江口直明さんを講師にお招きし、「エピソードから見る大隈重信」のテーマでスタートしました。

佐賀が生んだ偉大なる政治家・大隈重信の数あるエピソードをご紹介いただき、「頑固・合理的」というイメージとは違った角度から、その人間性を垣間見ることができました。

今年度のさが学講座は、コロナ禍で人数制限が継続された中でのスタートとなりましたが、もっと多くの皆さまにご参加いただける日が一日でも早く訪れるように願うばかりです。(参加者35名)



大隈重信



令和4年度 第一回目のサークル代表者会議を開催

5/23(月)に今年度の第一回目のサークル代表者会議(サークルから32名参加)を開催しました。館長より、今年度の人事異動で職員の変更があった事、コロナ禍にあって、今年度も昨年と同様にコロナ対策を施して、各サークルの自主的、且つ持続的な活動を期待するなど挨拶がありました。

議 題	主な説明内容
1. 公民館利用について	音を発する利用は、原則として夜8時までとする。
2. 年度利用の確認について	活動一覧を確認の上、変更があれば申し出ること。
3. 公民館予約システムについて	メールの有効化について再度確認を依頼。
4. 文化まつりの名称について	「赤松文化まつり」を「赤松文化祭」に名称を変更する。
5. その他(連絡)	「おほり灯ろうまつり」を 10/22(土)に開催予定。

みどりを楽しむ教室

5/27(金)、第一園芸センターの田中雄一郎さんを講師に迎え「みどりを楽しむ教室」を開催しました。

室内でのレクチャーから始まり、これから暑い季節にむかって「花を長くきれいに咲かせるために必要な手入れ方法」について教えていただきました。

その後、外に出て、参加者全員で花壇とフラワーポットに花を植え、それぞれお持ち帰り用のバスケットプランターに寄せ植えを作り、質疑応答で今回の教室は終了しました。

5月にしては暑い一日でしたが、強い日差しに負けず、皆さんで楽しい汗を流すことができました。

(参観者11名)



赤松子育てサロン

5月の子育てサロンは、小さいお子さんへのコロナの広がりの影響で中止となりましたが、6/8(水)、今年度最初の「赤松子育てサロン」を実施することができました。

最初にお子さんたちそれぞれの手形をとり、お母さんにメッセージを書いていただきました。その後は、音楽に合わせて体操をしたり、お母さんたちの子育てトークの時間もあり、大人も子供も楽しい時間を過ごしました。

(参加者8名)



赤松みちくさ記

第1回

佐賀県美術館を訪ねて…

赤松公民館長

栗屋 茂

先日、ぶらりと散歩がてらに佐賀県美術館に出かけてみました。丁度、美術館では「ヨーロッパ絵画 美の400年―東京富士美術館コレクション」を開催していました。

このコレクションは、16世紀イタリア・ルネサンスの絵画を中心に作品約80点を展示しており、特に、モネ、ルノワール、ゴッホなど世界的に有名な巨匠たちの作品を鑑賞することができました。思いがけずに立ち寄った美術館で、16世紀後半から20世紀までの珠玉の欧州絵画を鑑賞し、西洋絵画の変遷を一望することができました。

やはり巨匠の描いた本物の作品(点描などの筆づかい)を、実際に目の当たりにする事の感動は、ここでしか味わうことができません。皆さまもぶらりとお近くの美術館を訪れて見られませんか。きっと素敵な感動を味わうことができると思います。

(来年の1月～2月にかけて、新春特別企画として大正ロマンの画家「竹下夢二展」が計画されているようです。)



「フラワーポット花植え」 本丸通りで実施

6/11(土)、本丸通りのサガテレビから佐賀県庁までの沿道に設置してある、フラワーポットに花植えを行いました。

この日は、梅雨入り初日のあいにくの空模様でしたが、赤松まちづくり協議会の有志19名のほか、龍谷中・高校、城南中学校、赤松小学校からも、19名の皆さんがボランティアとして参加してくれました。

まさしく老若男女の総勢38名で植え込みを行い、アツと言う間に作業を終えることができました。恵の雨に打たれた花苗は、これから綺麗な花を咲かせて、沿道を通る市民の皆さまの目を楽しませてくれるものと思います。参加して頂いた皆さま、お疲れ様でした。



花いっばいコミュニティ活動

6/7(火)に赤松小学校の「あいさつ通り」の花壇に、校区のコミュニティの皆さんや児童たちと一緒に、花の苗植えを行いました。この活動は、赤松コミュニティ・スクールの一環として、毎年、春と秋の季節に合った色とりどりの花を植える活動です。

土いじりの機会が少なくなった子供たちは、土の感触を楽しみながら、思い思いに手に取ったポットの花の苗を、花壇に植えていました。「立派に育ってくれるといいな」子供達の優しい言葉が聞けました。暑い中、手伝ってくれた皆さま、ありがとうございました。



えがお食堂 主催：赤松まちづくり協議会 えがお食堂プロジェクト委員会

6/25(土)、公民館に「えがお食堂」が開店しました。

今回は、地域の方々による手作りのキーマカレー。事前申し込みのあった160食を、集会室で食べたり、お弁当として持ち帰ったりしました。

当日は雷雨で外でのゲームが中止となり、飲食もパーテーションを設置し、一方向を向いての会食の形とはなりましたが、コロナ禍で中止していた公民館での飲食が復活し、久しぶりに地域の大人と子供がふれあう場面が見られました。

次の開催は8/27日(土)です。



「街角リポート」

中の館のこと

中の館自治会 会長 田中唯史さん

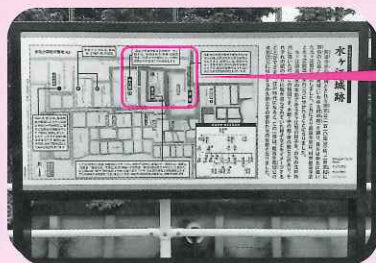
縁あって赤松小学校五年生の屋外事業フィールドワークを、昨年までお手伝いをしてきました。

本年度は、地元住人ということもあって「龍造寺隆信生誕地」「乾享院」を担当しました。「龍造寺隆信公碑」と彫刻された大きな石碑から話を始めます。

何が彫られているか、何時、何の為に建てられたのか等々、石碑から判ることを確認していきます。次に、1500年代の話に遡り、当地の地名「中の館」が出てくることを古文書で確認します。今「ナカノタテ」町という町名になっていますが、元は「赤松町中館」、その前は「中館小路」。その読みは「ナカンタテ」？龍造寺家の分家筋に当たる多久家蔵の絵図「剛忠様水ヶ江城御城図」(明治期に書写されたもので、内容から1530年代の様子が描かれている)の中に、隆信が生れた屋敷の他「中館」と説明書がある屋敷が見てとれます。(赤松小学校南門側の立て看板参照)他の古文書には、東館(天神屋敷)、本館、中館、西館がでています。今参照している古文書は、明治期に書写されたものが多いのですが、「中館」は以前から普通名詞として存在していました。

そこで読み方ですが、広辞苑では、「タテ」を索引すると「タチ」となっています。漢和辞典では意味として「ヤカタ」「タテ」「タチ」。「昭和37年発行の佐賀市教育委員会の文書の中には「今も通称中の館(なかのたち)」という」と、わざわざルビを振っています。有識者は「タチ」と読ませたいようです。最近、書いた住所に対して「ナカノヤカタ」ですかと聞かれたことが多々あります。

長くなりましたが、私なりの結論は、固有名詞として確定した町名は「ナカノタテ」、領主等の屋敷を意味する普通名詞は「タチ」「ヤカタ」「タテ」と称することです。奥州平泉には「ミタチ」が居たようです。最近流行のキラキラネームより、よほど分かり易い。地名と言えば「ヤマト」「アスカ」もキラキラネームの最たるものと思います。



赤松小学校南門にある立て看板



体育協会主催 町区対抗グランドゴルフ大会の報告

5/22(日)に快晴の爽やかな風を受け、赤松小学校グランドにおいて、グランドゴルフ大会が行われました(10町区 15チーム 67名参加)。

結果は、下記のとおりです。役員、選手の皆さまご健闘、大変お疲れさまでした。

団体

優勝 中の館B
準優勝 中の館A
三位 西城内

個人

第一位 木村 宏 (東城内)
第二位 力久 進 (中の館)
第三位 石丸 雅之 (北水)



中の館A, Bの選手の皆さん

行事予定

8月

3日(水) 将棋のひろば (中止)
4日(木) 公民館連絡会議・公民館長会
ピョピヨひろば
10日(水) 将棋のひろば (中止)
民生・児童委員協議会
17日(水) 将棋のひろば (中止)
18日(木) 自治会長会、ピョピヨひろば
21日(日) 休館日
22日(月) さが学講座
24日(水) 将棋のひろば (中止)
25日(木) ピョピヨひろば
27日(土) えがお食堂

9月

1日(木) ピョピヨひろば
7日(水) 将棋のひろば
民生委員・児童委員協議会
8日(木) ピョピヨひろば
14日(水) 将棋のひろば、子育てサロン
15日(木) ピョピヨひろば
16日(金) 自治会長会
18日(日) 休館日
21日(水) 将棋のひろば
22日(木) ピョピヨひろば
26日(月) さが学講座
28日(水) 将棋のひろば

※新型コロナウイルスの状況により、予定・内容は変更する場合があります。